

第54回山形技能五輪出場

高校生初 2次予選会突破

宮城県工業高等学校

「旋盤職種出場」

機械科2年 目黒達也選手(大河原中)

先日行われた、第54回技能五輪2次予選会を機械科2年の目黒達也選手が見事突破しました。

目黒達也選手は高校生初となる2次予選会を突破し、10月22日(土)に山形ビッグウイング(山形国際交流プラザ)で開催される第54回技能五輪全国大会に宮城県代表として出場します。



県工生の活躍を期待します！

山形技能五輪出場 目黒達也選手コメント

日々、2年生での技能五輪旋盤2次予選突破を目標にして、毎日遅くまで鉄をひたすら削りました。

昨年から設けられた2次予選会は、学生予選が廃止となり、企業も含めての予選となりました。高技能を有する者を選抜するため、作業時間の短縮、課題レベルは大幅に向上し、学生には時間内に高精度の作品を作るのは大変苦しいものでした。2次予選課題を理解するために、先輩方から何度も講習を受け、たくさんの技術を学びました。今年の課題もやはり難しいものでした。ですが図面の理解をするのは意外にも早く、すぐ作業にとりかかれました。活動時間が夜9時にまで及ぶ日もありました。後半は、部活の元顧問である矢内先生に毎日作業中の動画を撮ってもらい、自宅で見えて改善点を挙げ次の日に繋げました。

本番当日は、「いつも通り」をとにかく意識しました。前々からシミュレーションを行っていたので、流れ通り進み、愛知の会場が県工の工場にみえ、審査員はマイスターの講師や先生にみえ、作業はとても楽しくて、今までの課題であった箇所も最後の最後に修正できました。組立図通りに加工でき、予選を突破することができました。

今までの練習では辛いと思う事は一度もありませんでした。むしろ旋盤の前に立つだけで体がうずきました。作業は安全、5S、そして楽しいと思えるのが大事だと思っています。

今回、第54回技能五輪旋盤職種には50名程選抜され、企業に属していない高校生の出場は全国で1名のみとなりますが、今年は山形が会場なので、東北代表、宮城県代表、高校生代表、県工代表として、怯むことなく、劣ることなく、また2年生だから来年もあるとは限らないので、技術もまだ豊富ではありませんが、今ある力を出し切ります。

また、夜遅くまでの作業を見守りサポートして頂いた顧問の三浦正彦先生、鈴木隆先生、会場まで付き添って頂き、メンタルや体調をサポートしてくれた佐々木元克先生、矢内先生、工場の機械を自由に使わせてもらった機械科長はじめ機械科の先生方、たくさんの技術指導、2次予選を突破するための技術や基本的なことまでたくさん教えて頂きました先輩方、材料や刃物、掃除の手伝いや会場までのサポートをしてくれた部員の仲間たち、夜遅くに帰り朝早く出る自分を陰から見守り、自分の目標を応援してくれている家族や祖父母など、たくさんの人からのサポートで自分が動いていることを決して忘れず、チーム県工で、6パーツの課題、作業時間は5時間45分、絶対に作り上げて見せます。